

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-4-035

補助事業名 「平成 23 年度（復興支援）被災者や被災地域が自ら行う復興活動」

補助事業者名 特定非営利活動法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

1、補助事業の概要

(1) 事業の目的

福島原発事故は大きな環境破壊を引き起こし、地域におけるエネルギーの自給という課題をつきつけた。当団体は、環境負荷をかけない有機農法を進めており、今回の放射能被害を通して、さらに進めて、エネルギー自給の仕組みを地域に進めるべきだと考える。

農地の放射能除去の方法として、ひまわり、なたねを植え、土壌を改良する。収穫された種から搾油し、地域飲食店が使う。その廃食油を回収して、その廃食油で農機具や車を動かすという、地域におけるエネルギーの循環システムを構築する。



(2) 実施内容

放射能除去のために作付けするひまわり・なたねの種の購入、ひまわり・なたねの刈取り機械の借上、搾油機器の借上、廃食油の精製機器（遠心分離機、動力源用のソーラーシステム）の借上、SVO 自動車<1 台>の借上・整備、SVO システム構築のための専門家派遣、SVO メンテナンス講習会の開催 ※SVO とは、straight vegetable oil の略で、植物由来の廃食油を物理的に処理して活用する環境負荷の少ない活用システムのことです。SVO 自動車・SVO トラクターは、専用の機器を取り付けています。

2、予想される事業実施効果

ひまわり植付け面積：2ha、ひまわり収量：1,000kg、ひまわり油：300 kg

なたね植付け面積：2ha、なたね収量：2,000kg、なたね油：600 kg

ひまわり油、なたね油を、1 台の SVO 自動車に活用する。

地区でエネルギー循環を推進する 20 名の人材を育成し、東和地区型システムを構築する。

3、本事業により作成した印刷物等

- ・会員向け広報紙 10月
- ・イベントチラシ新聞折込 9月、10月、11月、24年2月

平成23年 特定非営利活動法人
 秋子 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会
ゆうきの里通信
 発行10月1日

発行日 大野 達弘、編集責任者 武藤 正敏 事務局 二本松市大田字下田2-3

＜ご挨拶＞

秋の実りを迎え、少しばかりではありますが収穫の実感もやってきました。原発事故から7ヶ月半、まだまだ先が長い道のりです。

さて、5月の会員総会で災害復興プログラム策定について、皆様よりご承認を頂きました。各基金申請もようやく採択となり、福島大学をはじめ関係大学、機関とも準備を整え、取組みを始めたところがあります。全体的に予想をはるかに下回る東和地域の汚染レベルですが、全体の対策を待たない里山と農地への方法が有効か、またはレベルの低い農地でも農作物への移行を抑え込む方法について、調査・分析・情報発信・確認を繰り返しながら、地に足のついた災害復興に取り組んで参ります。

先日の全国テレビ放送でも訴えましたように、子供たちをはじめ、私達のふるさとに、これからも安心して暮らしていくためには、どれだけ時間をかけても土と水を元の姿に戻していかねばなりません。そのために福島大学と協力協定を結び、二本松市と情報交換しながら全体の動きとも連動していくことに致しました。

里山の復興を目指して「げんき」を「ゆうき」をもって発信して参りますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願いします。末になりましたが皆様のご健勝をお祈りし、ご挨拶と致します。

理事長 大野 達弘

★4月～9月販売概況

あぶくま館販売は83.6%、店舗全体は85.2%と他にない成績となりました。直売所交流会で聞く他の直売所は前年の半分以下の売り上げだそうです。出荷物の放射能測定をTVなどでPRしてお客様の反響は大きくなっています。秋以降の野菜も不足する事が想定されます。作付け推進をお願いします。

里山再生計画・災害復興プログラム

原発事故以後、東和地域の田畑と里山環境は調査結果から思ったより放射線量が低く、農作物への放射能の移行も少ない事がわかりました。ごく稀に基準内で高めにできるものもあります。今後とも事実をしっかりとつかみ、専門家のご指導でその場所にあった対応策をたてて子供の未来に渡したい。私たちの願いをこのプログラムに込めています！ご支援、ご協力をお願いします。

1歩1歩、げんきなゆうきの里東和に戻していきます！

- ① **田畑の放射線量測定**
(マップ作成・公開)
★6月・10月・2月の測定です
- ② **野菜の放射能測定**
(東和げんき野菜基準)
★10月から6ヶ月の約束です
- ③ **4水系山林の放射能調査**
(調査:新湯大・茨城大・横浜国大)
★写真は各大学合同調査です
- ④ **田畑の放射能対策**
(調査結果から対策決定)
- ⑤ **里山資源を循環エネルギーにする**
(SVO(ひまわりの種、なたね油)で動力化
競輪補助事業で行っています)
- ⑥ **健康と里山の土、水を見守り続ける**
(講演会・ワークショップ開催)
⇒11月5～6日収穫祭では第2回マップ展示
⇒10月5日 報道ステーションで東和特集を放送
(道の駅で録画再生しています)

◇各理事が①と③の調査に伺います。

上左:放射線測定器
上右:第1回測定マップ
2階左:「%」モニター
2階右:げんきモニター
3階左:報道ステーション取材
3階右:畑土壌採取調査
4階左:水源土壌調査
4階右:水源生物調査

上左:天笠先生 上右:松井先生著書

東和の農産物大収穫感謝祭

心の除染をしましょう！ 11月5日(土)～11月6日(日)

好評の東和話 民話茶屋

語り部 紺野 雅子さん
雅子さんの民話CD発表！
 (2日間) 11時～11時45分
限定CDと民話本の販売(手製の絵手紙進呈)

★体験・発見もり盛り★

1. 農産物品評会 & おもしろ野菜珍評会出品募集
 11月 5日(土) 9:00～16:00 11月 6日(日) 9:00～12:00
 品評会出品は東和地域内。おもしろ野菜は県内のものです。
 出品される方は、11月4日(金)15:00までに道の駅へお持ち下さい。
 「展示販売しますが、引渡しは6日表彰後となります」
2. 「東和げんき野菜もりもり大なべ」1杯 200円
 ==5日のみ 10:00～15:00==
 東和げんき野菜の復活開始のイベントです。
 出荷野菜は放射能測定をしてげんきシールを貼っています
 げんきに祭りしよう！みんなで食べて楽しみましょう！！
3. 災害復興プログラム ==2日間 10:00～15:00==
 「東和の農地放射線マップ展示」
 第2回東和の農地放射線マップの公開
4. 「SVO:自然循環エネルギーの展示」
 ヒマワリの種？で走る車展示！

 廃油から燃料をつくるSVO装置展示！

 競輪補助事業で行っています。

日本が生んだ
世界のスポーツ
KEIRIN

東和の里山再生・災害復興プログラム始まる！

原発事故以後、東和地域の田畑と里山環境は調査結果から思ったより放射線量が低く、農作物への放射能の移行も少ない事がわかりました。ごく稀に基準内で高めにできるものもあります。今後とも事実をしっかりとつかみ、専門家のご指導でその場所にあった対応策をたてて子供の未来に渡したい。私たちの願いをこのプログラムに込めています！ご支援、ご協力をお願いします。

- ① **会員の田畑の放射線量測定をしています**
(会員のマップ作成・公開)
★6月・10月・2月の測定です
- ② **会員の野菜の放射能測定をしています**
(東和げんき野菜の基準)
★10月から6ヶ月の約束です
- ③ **4水系山林の放射能調査をしています**
(調査:新湯大・茨城大・横浜国大)
★写真は各大学協力調査です
- ④ **田畑の放射能対策を考えています**
(調査結果から対策決定)
- ⑤ **里山資源を循環エネルギーにします**
(SVO(ひまわりの種、なたね油)で動力化)
- ⑥ **健康と里山の土、水を見守り続けます**
(講演会・ワークショップ開催)
⇒11月5～6日収穫祭では第2回マップ展示
⇒10月5日 報道ステーションで東和特集を放送
(道の駅で録画再生しています)

◇放射能に対する健康・食糧の心配
 11月27日(日)9時～ 講演会 天笠啓裕先生(道の駅 会議室)
 12月 1日(木)12時半～ 講演会 松井英介先生(道の駅 会議室)
 ◇おまわりの環境税も50円/kg、なたね交換10kgまで

上左:放射線測定器
上右:第1回測定マップ
2階左:「%」モニター
2階右:げんきモニター
3階左:報道ステーション取材
3階右:畑土壌採取調査
4階左:水源土壌調査
4階右:水源生物調査

上左:天笠啓裕先生 上右:松井英介先生著書

予告:ウォーク+aveミラライブ+大声コンテスト+民話茶屋+お楽しみ抽選

AVE! みんなで歌おう!復興の

アコースティックライブ

＜次週開催予告＞
第5回あぶくまふるさとウォーク
 11月13日(日) 9時 受付開始

わたしたちの暮らしと里山の盛り立ちや
 歴史・水脈の大切さを等々野の皆さんが
 農作家・環境・健康からみつなげている
 自分のために、地球のために・・・

4、事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 特定非営利活動法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会
住所 : 〒964-0111 福島県二本松市太田字下田 2 番地 3
代表者 : 理事長 大野 達弘
担当部署 : 道の駅ふくしま東和 (あぶくま館)
担当者名 : 店長 富樫 隆二
電話番号 : 0243-46-2113
F A X : 0243-46-2114
E-mail : yuukinosato@piano.ocn.ne.jp
U R L : <http://www.touwanosato.net>